

## 大原社会問題研究所五十年史

## III 本格的事業の展開から東京移転まで〔一九二三～三六年〕

## 図書閲覧室の開設

一九二四年 大正一三年 一九二四年三月末の委員会で、研究所内に図書閲覧室を開設することがきまった。これは所外の社会問題、経済学の研究者に図書閲覧の便宜をあたえようとするもので、希望者について委員会が特別許可をあたえ、無料で閲覧室を利用させることとしたのである。四月二日の開設以後、一日一―三名程度の利用者があった。それらの中には、赤松五百麿、村山藤四郎、小岩井浄、長谷田泰三、豊崎稔、小倉金之助氏らの名が見えている。

五月二日には研究所を訪れたレーデラー夫妻をかこんで茶話会が開かれ、大阪毎日新聞社で開かれた同教授の講演「岐路に立つ欧洲」には、森戸氏が通訳をつとめ、盛会であった。

法政大学大原社会問題研究所五十年史

発行 1970年11月

編・発行 [法政大学大原社会問題研究所](http://oisr.org)

[前のページ](#) ← [法政大学大原社会問題研究所五十年史【目次】](#) → [次のページ](#)

[研究活動・刊行物](#) [OISR.ORG全文検索](#)

[法政大学大原社会問題研究所](http://oisr.org)(<http://oisr.org>)